

Q & A

最優秀賞受賞者に聞く！

Q 挑戦した理由は？

A 実家が酪農を営んでおり、私も将来は酪農をしたいと考えています。いざ経営する立場になったときに、自分の目で牛を評価し、後継牛を判断できるようになりたいと思い、その力を養うことをめざして、家畜審査競技会に挑戦しました。

Q おすすめの学習法は？

A 私の場合、まず審査標準※を理解してから、乳器はどこを見るのかなど、各項目で審査する部位を決めました。次に、牛を見比べて、優劣を比較できるようにしました。

牛を見る回数を増やして、理想の牛を想像できるようにしたり、第一印象で評価できるようにしたりと、目標を持って取り組むことが大事だと思います。また、順位づけで悩んだときのために、どこに重点を置いて判断していくかも事前に決めておくとういと思います。

※審査標準…牛の体型・外観を客観的に評価する際の基準。乳用牛の審査標準は、一般社団法人 日本ホルスタイン登録協会が定めており、体貌と骨格、肢蹄、乳用強健性、乳器の4大区分などで構成されている

Q 農業クラブ員にエールを！

A 家畜審査競技会に挑戦する場合、勉強して知識を深めることも大事ですが、なにより牛を見ることが一番です。その牛の長所が理解できるようになると、家畜を審査することが楽しくなります。自分自身が競技を楽しめるようになったら、自ずとよい結果がついてくると思います。みなさん、がんばってください。



本校の畜産科には「酪農（乳牛）部門」があり、専門的に学ぶことができます



家畜審査競技会は、審査標準をしっかり理解することも重要です

10 9 8 6 5 4(月)

農業クラブ全国大会への道程

- ▼各部の名称と審査標準を覚える
- ・地域の共進会に参加
- ▼写真による乳牛4頭の比較を実施
- ▼実物の牛を用いた模擬競技を実施
- ▼審査標準などを復習
- ▼地域の酪農家を視察、模擬競技を実施
- ▼地域の酪農家を視察

最優秀賞（農林水産大臣賞）受賞

農業クラブ全国大会に出場

日ごろの授業や実習をととして“牛を見る目”を養ったことで、牛の長所がより理解できるようになりました。将来にも役立つ力を身につけることができた実感しています



公開競技

“家畜を見る目”を磨く 家畜審査競技会

第75回 日本学校農業クラブ全国大会（岩手大会）

家畜審査競技会（乳用牛の部）

最優秀賞 農林水産大臣賞

〔四国ブロック〕 愛媛県立野村高校

畜産科3年 富永 太陽さん

